

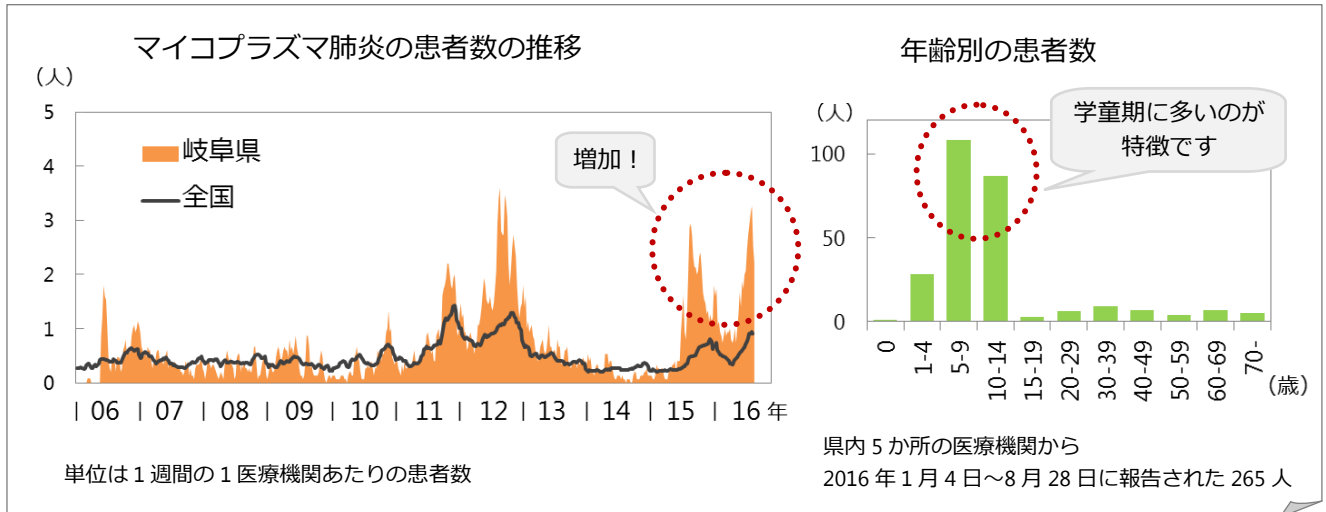
ぎふ感染症かわら版

平成 28 年 9 月 2 日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



マイコプラズマ肺炎に注意しましょう！

マイコプラズマ肺炎の患者数が全国的に増加傾向にあります。
県内でも昨年後半から増加していますので、注意しましょう。



どんな病気？

肺炎マイコプラズマという細菌による呼吸器感染症です。

潜伏期は2～3週間と長く、**発熱**や**全身倦怠感（だるさ）**、**頭痛**、**乾いた咳**などの症状がみられます。

咳は少し遅れて始まることもあり、熱が下がった後も**3～4週間続く**ことが特徴です。

肺炎を発症しても比較的元気なことが多いですが、重症肺炎となることもあります。
また、中耳炎、髄膜炎、肝炎など様々な合併症をおこすこともあります。

コンコン



手洗い・うがいをしっかりと

マイコプラズマ肺炎は、感染している人の咳などのしぶきを吸い込むこと（**飛沫感染**）や、手指を介して病原菌が鼻や口に入ること（**接触感染**）によってうつります。

予防には、普段から**手洗いやうがい**を行うことが大切です。

また、咳が出るときはマスクを着けるなど、**咳エチケット**を心がけ、長引く咳などの症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。
くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

